

かながわ

イグレン

機関紙第14号（2022年1月）



講師 岡 真喜子先生

レジリエンス = 思いやり力で
自立型組織作り
しあわせが必要なのは従業員だけじゃない！



第55回海老名サロンより 全員マスクをしての受講

神奈川県異業種連携協議会

< 目 次 >

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1 対話のための図書館 図書館のための対話 (3) | 林 秀明
芝 忠 |
| 2 「姓」の 文化 | 水沼高志 |
| 3 鉄道輸送研究会の思い出 | 芝 忠 |
| 4 オミクロン型で終結にしたいコロナウイルス | 加藤文男 |
| 5 基本に戻ろう企業経営5 5Sは経営の基本 | 加藤文男 |

対話のための図書館 図書館のための対話 (3)

元神奈川県立図書館館長
イグレン会員 林秀明
神奈川県異業種連携協議会
専務理事 芝 忠

●はじめに

芝忠 図書館についての林さんとのディスカッションは3回目になります。前回の話の続きから始めたいと思います。

林秀明 前は芝さんに神奈川県技術情報センターについて話していただきました

現場からの政策形成、わくわくしたお話でした。

ちょっと、県庁の政策形成について、話を広げませんか。

芝 面白いですね。政策はどう作られるか、作られるべきか、ですね。

長洲さんは、市民参加と職員参加という言い方をしましたが、大切なのは、市民や職員の要求に根差して政策形成だと思います。

●労働組合の政策提案

林 芝さんは、若いころから、県庁の中で顔を知られた存在でした。組合でも活躍されていました。

芝 労働組合ですね。念のためですが、組合というと、読者の皆さんが思いうかべるのは、共同で事業を行う、事業協同組合、技術協同組合などです。異

業種連携の形でもあります。

林 自治体では労働組合は政策形成でも大きな役割を果たしていました。労働組合は、労働条件の維持・改善を目的としていますが、人々の役に立つ商品をつくっているという働き甲斐が一番の労働条件です。公務員の場合もそうですね。

私は1976年の入庁、長洲知事誕生の翌年です。

当時は公害が大きな社会問題でした。地球規模の環境問題という考え方ももちろんありましたが、地域の問題として、自治体に突きつけられました。働く職員にも突きつけられていたと思います。

四日市の公害訴訟では、四日市の久鬼市長は石油化学工場を擁護しますが、市職員の労働組合は被害を受けた住民の立場で活動します。県の職員の組合も三重県立塩浜病院の医師や医療職などの現場での取り組みを擁護します。

県職員の使命を果たしていくためには、労働組合に入ることは当然だと思っていました。ええ、入庁初日、4月1日に組合にも入りました。

芝 私が県に採用されたのは 1966 年です。四日市公害訴訟のニュースが連日流れていました。訴訟の提起は 1967 年だったと思います。研究職として工業試験所に配属されました。私も 4 月 1 日に組合に入りました。1967 年から、県職員労働組合工業試験所分会の書記長、1975 年からは分会長をやりました。

分会といっても組合員が 250 人を数え県庁最大の分会でしたから、結構、大変でした。

林 芝さんには、組合の本部などで教宣活動をされていたようなイメージがあります。

芝 県職労本部の執行委員や専従はやっていません。職場の活性化や政策提言が重点的活動でした。

林 工業試験所の仕事は、企業の技術開発や性能試験、さらには技術を生かした製品化や事業化の支援ですよ。現場の仕事を変えていくことが政策の確認に直結します。職場の活性化が政策提言なんですね。

職場の分会活動だけでなく、芝さんたちは工業試験所を拠点に商工部の分会の連携組織として商工支部を再建されています。さらに商工協議会もつくられました。

芝 そうですね。分会で政策要求をきちんとまとめて、それを受け止めて産業政策としてまとめ上げ、当局に提言する活動や組織がなければなりません。そのために、10 年越しで 1976 年に商工協議会を設立しました。その代表幹事を 1995 年まで務めました。



県職労「商工協議会ニュース」に 1980 年 3 月 10 日から 6 月 18 日にわたって、「科学技術情報活動をめぐる社会的経済的背景」が掲載された。

全 11 回で、各回の内容は次のとおり。

- 【1】(一) 第二次世界大戦と情報活動、
(二) 米国の科学技術独占体制の敗北 【2】(三) 日米科学協力 【3】(四) 日本科学技術情報センターと産業界 【4】(五) 政府の情報政策 (1) 一号答申と原子力情報 【5】
(五) (2) 中小企業海外技術情報 【6】(五) (3) 41 年意見と情報政策 【7】(五) (4) ジクストの転換と NIST 計画 【8】(五) (5) 学術情報システムとジクストの限界【9】(六) 80 年代の情報政策 (1) 端末機設置の狙い 【10】(六) (2) データベースの整備 【11】(七) エ試の技術情報センター 教訓とすべき特徴点

林 その時期が神奈川県技術情報センターや試験研究機関の再編整備などの時期と重なるんですね。

試験研究機関の再編整備は、農業系の試験場や公害研究所、衛生研究所などにも関わります。商工行政、産業政策の枠を越えた取組みが必要になります。

芝 1973年に研究職場の共通の要求を実現するため、研究職場協議会を設立しました。試験研究機関の再編が政策課題に浮かび上がる前です。また1976年には工業系の試験研究機関ですが、全国公設試験研究機関職員連絡会議(全公試連)を設立しました。

現場からの様々な提言が神奈川の産業政策・科学技術政策をつくってきたと自負しています。

●情報センターの先駆け

芝 前回お話したとおり技術情報センターについても現場発です。長洲知事の頭脳センター構想や中小企業庁の施策に促された面はありますが、いくら、外から突っついてても殻は破れません。啐啄(そったく: 孵化のときに殻を内と外から突つつくこと)ですね。

外から突つつくということでは、もう一つ、県の役割論があります。

県の役割論というと、民間でできることは民間でとか、県は市町村の補完だとかそういう議論が多いです。

長洲さんの場合は、分担ではなく連携です。民間や市町村と連携して仕事を行う際の県の役割として情報センター機能を提起します。

農政部の農業情報センター、衛生部でも衛生や薬事についての情報センター、商工部の中でも、技術情報のほかに経営情報のセンターなどが構想されていました。

しかし、具体的な情報センターの仕事・役割を構想できたのは、私どもの技術情報センターだけだったと思います。

●情報センターの5つの機能役割

林 たしか、技術情報センターの役割の構想って、五つの視点からですよ。

図書館の機能役割を考えるうえでも大いに役立つ視点だと思います。前回、聞きそびれてしまいました。ぜひ、ご紹介ください。

芝 一番目は、誰のためにという点です。ユーザーがどのように使うかをきちんと想定して、情報を収集し、提供するということです。中小企業の技術開発や製品開発を想定しました。実際に工業試験所を利用されている方々、さらに使っていただきたい方々です。

林 そうですね。図書館もユーザーのイメージをどれだけ具体的に持っているか、が大切ですね。

芝 二番目は地域での企業などの技術情報交流の活動を支援することです。ポイントは「地域での」というところです。

今はケーレツという言葉はあまり聞かれなくなりましたが、当時はまだケーレツ、系列の中での技術交流が一般的でした。大手の企業が技報などを通じて、技術開発の状況を公表し、そ

の方向に沿って、中小企業は自社の技術開発を行うという流れです。

私たちは、地域での情報交流を支援する必要を感じていました。

神奈川には高度な技術を持った企業がたくさんあります。他の企業の技術と結びつけることで新たな製品や事業が生まれます。

林 地域FMSの構築という言い方をしていました。FMS、フレキシブル・マニュファクチャリング・システムですが、地域の中に生産システムを構想する。当然、ヒエラルキー型のシステムではなくて、ウェブ型のシステムになります。地域情報政策の大切な視点ですね。

芝 技術情報センターは、地域・地方における産業政策、科学技術政策だけでなく、情報政策という観点からも、試金石であったと思います。

あと、交流活動の大きな役割としてフォーラム活動を大規模に展開したのが神奈川の特徴ですね。

芝 三番目は、母体である工業試験所の中での位置づけを明確にすることです。技術情報センターは工業試験所に付置されました。その意味をきちんと理解して、本体の持っている機能を強化・改善するものであることです。

林 それは母体のこれまでの活動を発展的に継承するということですよ。新しいことを始める時に、これまでを否定する進め方や説明を好む役人が結構います。ええ、革新的だと自称している、思い込んでいる連中に多

いですね。

芝さんたちは発展的解消ではなくて、発展的継承です。これまでやってきたことをきちんと評価し、伸ばしていこうとする政策です。

当たり前ですが、こちらの方が信用されます。

芝 四番目は地域展開のネットワークづくりです。情報って「情け」という字が入っていますが、人と人の心の結びつきを媒介します。地域地域で定期的な研究会などを開催して、人のネットワークを長期的な視野で、ええ、戦略的という言い方をしますが無理しないで、じっくりと、地域地域で核になる産業支援組織や企業連携のグループを作っていくということです。

林 いよいよ、さいご、五番目ですね。

芝 五番目は、情報センター自ら技術動向を調査・整理して、企業に時代に見合った研究課題やその参考情報を整理して提供するということです。

ユーザーの企業にこんなことをやってみたらどうかと提案する機能です。実はそこまでやるべきか、センターの中でも議論になりました。

あくまで、技術動向についてのサーベイ論文を神奈川の中小企業の技術開発・製品開発を念頭にまとめるということで理解いただきました。

ええ、神奈川の中小企業の技術開発・製品開発を念頭にということですから、そのための県内企業の技術情報のデータベースの整備も進めることにしました。

林 普及部門の位置づけは難しいテーマですね。農業系や水産系の試験研究機関も試験研究部門と普及部門を持っていますが、普及部門は試験研究部門の成果を普及する、あるいは、企業や事業者の相談や研究・試験依頼を試験研究部門に橋渡しするというような役割です。

技術情報センターは、工業試験所の普及部門に位置づけられたと思いますが、ただ単に試験・研究部門と企業との媒介機能ではないということですね。独自の研究機能である技術開発動向のサーベイ機能を持って、それに根差した積極的な提案・普及活動を行ったということになると思います。

芝 そうですね。この後、神奈川県では「試験所から研究所へ」という試験研究機関の再編整備を進めます。試験研究機関と研究所の決定的な違いは研究テーマの設定です。研究所を標榜するからには、研究テーマの設定能力が問われます。

工業試験所の研究所化にあたっては、技術情報センター構想をまとめる際の議論が役立ちます。従来の依頼試験や依頼研究を基盤にして、企業や企業グループの技術開発・製品開発を支援するという役割はきちんと継承します。そのうえで技術情報サーベイに即して、地域の開発ニーズを先取りする研究を行い、普及するという考え方で進めていきます。

この考え方で、科学技術政策を所管する企画部とも話をつけて、そのための仕組みを予算化しました。

●科学技術政策の展開

林 1991年ですね。企画部の科学技術政策室に、各部の試験研究機関の重点基礎研究費が1億円一括予算化されました。各部の従来の予算にオンしての計上です。

予算って、通常、積算の基礎がありますが、このときは「つかみ」で計上です。使い方は執行段階で、「①新たな技術への創出を期待している研究、②行政課題の解決を目的とする応用開発研究上の行き詰まりを打開するため、基礎的部分に立ち返って行う研究」に配分するとされていきました。

芝 企画部って、昔は企画調査部って言いましたよね。計画づくりや調査統計などの所管で、事業の予算を計上することなどなかったと思います。その意味でも画期的なことです。

林 企画部では組織体制の整備も行います。

1988年に国からの人材を招聘し、科学技術政策の取組みを本格化させました。

科学技術庁の課長クラスを参事（部長級）に招聘します。

初代、1988年から2年間の科学技術政策担当参事は柴田治呂さんですが、後に通産大臣官房審議官になり、科学技術政策研究所長、科学技術振興事業団理事等を歴任された後、早稲田大学理工学部教授や東京農工大学工学部教授を勤められました。

二代目は1990年から2年間ですが、今村務さん。後に科学技術庁官房審議官、（独法）海洋開発研究機構横浜研

研究所所長を務められます

ええ、工業試験所のあったところですね。

芝 柴田さんも今村さんも技術職で原子力政策の専門家です。

他県では、財政課長や総務部長などに国の人材を求めますが、神奈川県は専門職を求めたんですね。

今村さんとは文科省の宇宙室長のときお会いしました。

林 商工部も、工業試験所の研究職を産業技術政策の参事に据えていましたよね。

芝 そうですね。本庁組織の中できちんと研究職が政策形成に役割を果たしていました。後に工業試験所の所長になりました。

林 芝さんご自身も、本庁に異動されています。

芝 1995年ですが、本庁の工業貿易課に異動になり、そこから、(財)神奈川中小企業支援財団に「かながわ異業種交流センター」担当参事として出向しました。

林 神奈川異業種グループ連絡会議の設立の翌年ですね。

政策を提言して自ら遂行するということですね。

その1995年、工業試験所は、他のいくつかの試験研究機関を統合して、産業技術総合研究所となって、横浜の新杉田から海老名に移転します。

さらに5年前、2017年には、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所になります。

県の職員に産業技術分野の研究職

がいなくなるわけですから、産業分野、科学技術分野の政策形成機能が弱くなるのではという心配があります。

芝 独立行政法人になっても、県立を標榜している以上、県の産業政策、科学技術政策への提言機能はきちんと持ち続ける必要があると思います。手続きを踏めば、人事交流もできないわけではないではありません。

林 未来は現場から見えてくる。未来を見据えた政策形成には現場の声が必要ですね。

●県立図書館の5つの機能役割

林 技術情報センターの5つの機能役割について、ご紹介いただく際に、図書館の機能や役割を考えるうえで大事な視点だと言いましたが、2番目からは図書館の機能・役割からの「合いの手」を入れ忘れてしまいました。

改めて図書館に即して考えてみたいと思います。

芝 そうですね。「対話のための図書館、図書館のための対話」ですから。

林 県に求められる情報センター機能という面では、図書館でも、KLネットを整備し、県内の市町村図書館や大学図書館の相互検索、相互貸借の仕組みを作っています。先駆的な取り組みであったと思います。

ただ、5つの視点に即してみると十分なものではありません。

芝 県立川崎図書館については、十分に、県の図書館としての役割を果たしていると思います。

●利用者具体的に想定する

林 そうですね、一番目の利用者具体的に想定するかという点ですが、県立図書館の役割として第二線図書館論というものがあります。第一線図書館が市町村図書館で、そのサービスを背後から援助するための図書館であるべきだという考え方です。

芝 第二線図書館論って、行革の論理に使われそうですね。

林 ええ、「図書館の図書館」と言ったりしますから。

芝 「図書館の図書館」ですか。10年前の県立図書館潰館騒動を思い出します。確か、県立図書館の図書は市町村立図書館を通じて貸出し閲覧にするという方針ですね。

林 ええ、県立図書館では閲覧も貸出しもできないという案です。方針はすぐに撤回されましたが、結構、混乱を巻き起こしました。

あえて言いますが、芝さんたちのような取組み、利用者を具体的に想定して、県立図書館に相応しい機能を充実させる努力が足りなかったんだと思います。

県立図書館には専門性が求められます。勘違いして、専門の意味をアドバンスだと思っている司書がいるんです。高度専門性などという言葉に置き換えたりします。

求められる専門性はスペシャルのほうです。高度専門ではなくて特殊専門です。

芝さんのおっしゃるように県立川崎図書館はきちんと工業分野の専門

図書館としてユーザーと利用方法を想定しています。先ほど「技報」の役割について触れていただきましたが、県立川崎図書館では「技報」もきちんと収集し、閲覧できます。

芝 川崎図書館はスペシャルと同時にアドバンスな図書館だと思います。「神奈川県資料室研究会」の活動の中で鍛えられた成果だと思います。

林 そうですね。県の情報センター機能の強化って、県からの情報発信を強化するという意味ではないですよ。地域の情報ネットワークの要になる、情報ネットワークの形成の推進役になるということだと思います。

「神奈川資料室研究会」って、昨年、2021年で60周年なんです。60年前から、毎月定例会を開いて、企業の資料室や知財部門の方々と一緒に勉強して、飲みに行き、ネットワークをつくってきたんです。ネットワークのお蔭で、高度なリファレンスも可能になります。

芝 60年ですか。林さんが館長の時は、確か、50周年でしたね。

林 この10年でいろいろありました。県立図書館潰館騒動は50周年の翌年でした。

●情報交流活動を支援する

林 二番目に技術情報交流活動の支援についてです。

情報交流活動で思い浮かべるのは、文庫活動です

図書館より先に文庫活動がありました。団地や職場での読書会、輪読会

などの活動、子どもたちへの読み聞かせなど様々な読書をつうじての交流活動がまずあって、それを支援するのが図書館の大切な役割でした。

読書活動について、地域や職場、学校などでの交流活動として具体的なイメージをもって、推進していく必要があるように思いました。

芝 職場での読書活動ですか。昔は小集団活動というのが、生産の現場にありました。QCサークルやZDサークルですね、現場で様々なカイゼンを積み上げていくというのが、生産性の向上や品質管理の基本でした。

職場や社員寮での読書活動も日常の小集団活動の延長だったのかもしれないですね。

いまは、社員寮、集団就職もなくなってしまいました。言葉だけが踊らないように気を付けてください。

林 地域もそうですね。店舗などのないところに住宅団地が次々にできて、そこで若いお母さんたちが、無店舗生協の班活動などを通じて、知り合う機会がありました。

若い主婦が若いお母さんになると、松田道夫の「私は赤ちゃん」などの読書会が自然と開かれます。

今は無店舗生協も宅配です。班はありません。

情報交流活動、考えて使うべきことばですね。

●設置主体に貢献する

林 三番目の技術情報センターは工業試験所の一部だというお話、図書館

を考えるうえでも大事な視点です。

芝さん、図書館ってなんで分類されると思います。

芝 当然、その機能に即してですよ。

林 そうですね。通常、国立国会図書館、公共図書館、大学図書館、学校図書館、専門図書館というような分類がなされます。機能に即してということになると思いますが、同時に母体との関係を示しています。

公共図書館は市町村立と都道府県立の図書館のことです。公共の意味はpublicではなく、地方公共団体の公共です。専門図書館は特定主題を中心とした図書館サービスを特定の利用者に提供する図書館です。企業や研究所、博物館や美術館などに付属する図書館です。議会図書室や病院の図書室も専門図書館です。各々、地方自治法と医療法に根拠があります。

図書館についても技術情報センターと同様に母体との関連付けを明確化していくことが大事だと思います。

芝 学校図書館や大学図書館が教育活動や研究活動へどのように貢献するか、議論したいと思っていました。

たしか、前回の予告では、今回は学校図書館の思い出を語り合うことになっていました。

林 思い出は次回にしたいと思いますが、学校図書館の母体について、ちょっと、触れておきたいと思います。

学校図書館って、戦後の教育改革の中で制度化されたものですよ。学校図書館法に基づき、小中高や特別支援学校に必置とされる「学校の設備」と

されています。

芝 学校の設備？ 施設ではなくて設備ですか。

林 ええ、学校の設備と規定されています。ただ、その教育改革の方向を示したとされるのが、アメリカからの教育使節団の報告書ですが、そこでは学校図書館は公共図書館の分館とされています。

芝 学校の設備か公共図書館の分館か。母体はどこか、母体とどのような関係を取り結ぶかですね。

林 雑誌「みんなの図書館」に、県立高校の学校司書や県立図書館のOBと共同で「司書の仕事 神奈川の場合」というペーパーを寄稿しました。

学校図書館は学校の活動に貢献しています。

年間、200 時間近くの授業で学校図書館を使っている高校もあります。学校司書は必要な図書資料や授業のノウハウを集め、教員と一緒に授業を進めるんです。教室に馴染めない生徒が学校図書館に避難してきます。課題を抱える生徒への支援は学校の大切な仕事です。学校図書館はその面でもきちんと学校の役割機能に貢献しています。

芝 公共図書館でも、県立川崎図書館などは県の産業政策にきちんと貢献していると思います。

林 でも、公共図書館は、全体に政策への貢献にちょっと慎重です。戦前、国策にそって国民教化の先兵としての役割を担った反省からかもしれませんが、逃げているようにも感じます。

長洲知事の時の「リカレント学習社会の構築」、岡崎知事の時の「市民協働・市民活動支援センター」などの政策に、もっと、図書館からの貢献があってもよかったと思います。

●地域展開のネットワークをつくる

林 四番目の地域展開のネットワーク作りですが、図書館の場合は、市町村図書館との連携の強化ということになるのでしょうか。

図書館活動の連携などにも、戦略的に取り組んだ方がいいのかもしれませんが。

他県では図書館大会などを全県一斉に県立図書館と市町村立図書館、読書活動団体や書店組合などと一緒に開催しています。

芝 これはイベントで形だけをつくっても仕方ありません。書店などの理解や協力を得ながら、じっくり進める必要があると思います。

●サーベイ機能・研究機能をもつ

林 五番目は試験研究機関の普及部門に独自のサーベイ機能・研究機能を持つ話でしたが、政策形成への専門人材の関与の話ですっかり盛り上がってしまいました。

先ほど、四日市の公害訴訟の話をしました。その資料は、現在、四日市の「四日市公害と環境の未来館」に収蔵展示されています。県立川崎図書館には、川崎公害訴訟の弁護団から寄贈された訴訟資料が収蔵・配架されています。485 冊の膨大な資料です。図書館

の紀要などに、寄贈の経緯などを紹介したペーパーは掲載されていますが、内容を解題するようなペーパーはありません。例えば、「川崎公害訴訟における証拠としての書籍」というようなテーマのペーパーが掲載されてもいいと思います。所蔵図書、資料を素材にした解題資料はリファレンスサービスの質を高める大切な仕事です。

きちんと組織的に進める必要があります。

紅葉ヶ丘の県立図書館にも山川菊栄の蔵書をもとにした山川菊栄文庫があります。解題資料の作成が図書館の役割です。そのほか、様々なコレクションが十分に解題・紹介されないままに図書館の書庫に眠っています。

芝 山川菊栄文庫には労働運動の貴重な資料もあります。神奈川県立女性センターを象徴するコレクションでした。学習活動や調査研究に積極的に利用されていました。

林 そうですね。婦人総合センター（女性センターの1982年の設立当初の名称）の初代館長の金森ヒサエさんや長洲知事のご遺族にお願いして、寄贈いただいたものです。活動の成果や金森館長など歴代の館長の蔵書なども加わり、女性問題資料として動態保存されていました。

そのコレクションがなぜ、県立図書館にあるのか、芝さんと話し始めると終わらなくなってしまいます。

芝 経緯はともかく、コレクションを引き継いだ以上、その活用についても、女性団体の協力連携などを継承しな

ければならないと思います。

林 解題資料の作成なども女性団体などと協働が必要ですね。

芝 技術情報センターの5つの機能・役割って、改めて考えると、図書館の役割・機能だったんですね。

林 特に県立図書館を考えるうえで、重要な視点を示すものだと思います。

芝さん、そろそろ、時間です。

To be continue でいいでしょうか。

芝 先ほど話に出た「みんなの図書館」に林さんたちが書いたものをネタに、学校図書館の話などもいいですね。

林 2月号で、1月中旬の発売です。

今日はありがとうございました。

林秀明（はやし ひであき）

1952年石川県生まれ。1976年、神奈川県庁入庁。土木部、総務部、企画部、福祉部、環境部を経て、京浜臨海部活性推進課長、県土整備局参事、〃参事監（住宅供給公社理事）、県立図書館長、県立川崎図書館長。2011年3月退職。現在、図書館問題研究会全国委員。

芝 忠（しば ただし）

1942年生まれ。1966年東京都立大学工学部卒業して、すぐ神奈川県庁に入り、旧工業試験所で研究及び技術支援業務に携わった。1976年頃から異業種交流を手掛け、1984年に神奈川県異業種グループ連絡会議（異グ連）を結成して以来事務局を継続して担当。現在イグレン専務理事。

『姓』の文化

ジャパン・ヒューマニクス株式会社
取締役 水沼高志
(イグレン会員)

1 夫婦同姓か夫婦別姓か

『夫婦別姓』を希望する夫婦が異姓にして婚姻届を提出しました。戸籍係は同姓でないので届を受理しませんでした。夫婦は憲法の『婚姻の事由や信条による差別』に違反していると裁判を起こしました。最高裁大法廷では『夫婦別姓』を認めない民法と戸籍法の規定は合憲と言う決定を下しました。また、「夫婦同姓は日本の伝統文化で、夫婦別姓を認めると家族制度が崩壊する。」と反対する人達がいいます。私は『姓』と『文化』を結びつけての反対は意味の無い事だと思っておりました。しかし、21世紀研究会編『人名の世界地図』(文藝春秋)と言う書籍を読んでみると、『名前』はそれぞれの社会で生まれ別の社会からの影響を受けて変遷する『文化』そのもので有る事が分かりました。それぞれの地域で『名前』が生まれた背景を理解して、この問題を考える事は重要だと思えるようになりました。

2 中国の『姓氏』(人名の世界地図)

古代中国には支配階級が確立する以前から同族を表す家族名が有りました。この時代は母系制社会で家族名は『姓』と表現され、必然的に女偏の姓が多かったそうです。当時は人の交

流が少なく、同姓者は近親と考えられて結婚が認められない『同姓不婚』の伝統が有ったそうです。支配階級が出現して身分性が発展してきた周の時代に母系から父系性社会に移行し、天子から国を封じられた臣下(圧倒的に男性が多い)に対して支配地名や官職名が『氏』として賜れました。その後父系性社会が続いた結果、『姓』由来の姓氏は少なくなり『氏』由来の姓氏が圧倒的に多くなりました。『姓』と『氏』が併存した時代では、結婚後も女性は『姓』を名乗り、男性は『氏』を名乗ったと記述されています。現在でも中国では夫婦別姓を続けていますが、この時代の名残(文化)と思われる。中国の小説を見ると庶民も『姓氏』を持っていた事が分かります。漢民族の『姓氏』は漢字一字、『名』は漢字二字ですが、現代中国で伝統的な名前にこだわらない人は子供の『名』を漢字一字にしています。漢民族以外の異民族では本来の家族名を漢字に置き換えたり、漢民族風に漢字一字にしたりしています。また、香港では英国支配下に有った影響で、特に強制されたわけではないがイングリッシュ・ネームで呼び合う様になっています。

3 朝鮮・韓地域の『姓』（人名の世界地図）

古代の朝鮮・韓地域の国々も中国とは文化交流を行っていましたが、中国式の『姓氏』が波及したのは7世紀頃と言われています。その頃は新羅が唐と連合して百済・高句麗・倭の勢力を滅ぼして全国を統一した頃です。中国が統一新羅の宗主国となった後でも、『姓氏』の文化が臣下や民衆にまで至ったのは時間が掛かりました。朝鮮・韓地域では中国では途中消滅した『同姓不婚』の伝統が現代にまで至っています。朝鮮・韓地域では『姓氏』は漢字一字、『名』は漢字二字と漢民族と同じですが、近年は中国文化の影響を嫌い漢字表記からハングル文字表記に変わってきました。中国では支配地名や官職名由来の『氏』が家族名の主流ですが、朝鮮・韓地域では祖先を敬い家族名は変更しないので、中国で言う『姓』が主流になっています。

4 倭・日本地域の『名字』

古代の倭・日本地域の記録は日本側に日本書紀・古事記、中国側に東夷傳が残されています。日本書紀の『大足彦忍代別天皇（景行）』には以前にはなかった物部氏、吉備氏、大伴氏、穗積氏等の有力者の『名字』が記録されています。この天皇は臣下・兵士を率い筑紫から日向地方を征伐し、古代史で有名な皇子の小碓尊（日本童男・日本武尊）は熊襲から陸奥地方まで征伐を行っています。中国東夷傳の倭人の名前を年代順に

追ってみます。後漢書東夷倭条では倭國王の名前が『帥升』となっています。

（中国式名称）三國志魏書東夷傳倭人条（一般的には魏志倭人傳）に出てくる倭人の名前は『卑彌呼』『難升米』『伊聲耆』『掖邪狗』『卑彌弓呼』『壹與』です。（倭名漢字表記・中国式名称）。宋書夷蛮傳倭國条では王の名前は『倭讚』『珍』『濟』『興』『武』、使者の名前は『司馬曹達』、將軍の名前は『倭隋』となっています。北史四夷傳倭國条、隋書東夷傳倭國条の倭王の名前は『姓阿每』『字多利思比孤』『號阿鞬彌』と姓・字・號の順になっています。国の中に『阿蘇山』が有って噴火している有様が記録されています。國王は隋の煬帝に「日出處天子致書日没處天子無恙云云」と親書を送り、煬帝から無礼な奴だと鬻蹙をかいました。唐の時代の旧唐書東夷傳倭國日本國条には倭國が日本と言う名称に変えたと言う説と日本が倭國を併合したと言う二説が併記されています。新唐書東夷傳日本条には日本書紀・古事記に記述されている天皇の諱が記録されていて、天皇は中国で承認された称号である事が分かります。

古代の倭・日本地域でも『個人名』だけから中国の影響を受けて『姓氏』を付ける様になりました。時代が移り『姓氏』とは異なる『名字』を付ける様になり『同姓不婚』の習慣もなく独自性が認められます。

中世になると権力者は支配地名を名乗る様になり、織田信長のように例

え自称であっても上総介を名乗りました。江戸時代になると民衆は『名字』を名乗る事は許されませんでした。明治時代になると『名字』を持つようになりました。基本的には『名字』漢字二字、『名』漢字二字ですが、『名』をカタカナやひらがなにする人も多くなっています。また、外国の人名を漢字で表現する人もいます。これは戸籍制度では認められないでしょうが、例えばイチロウの様に通称として『名字』を付けない人もいます。日本では地名由来の名字が多く見受けられます。ちなみに私の名前も地名由来と考えられます。ただし『水沼』は日本書紀では『みぬま』と表示され、現在の新潟県が古くは『高志』國と言われていました。

5 古代ローマの氏族名・家名（人名の世界地図）

ヨーロッパ圏に住むインド・ヨーロッパ語族は基本的に一つの個人名しか持っておりませんでした。古代ローマの貴族の男性は『個人名・氏族名・家名』で構成される名前を持っていました。氏族名は同じ祖先により結束した複数家族集団を表し、家名は同一氏族の中の一家族を表しています。後に平民も家族名を持つようになりましたが、その時は家名を付けたと言われていました。ローマ帝国の支配がヨーロッパ圏に及び、個人名の後に家名を付ける習慣が伝わったと考えられます。現在でも東洋系の民族が多いハンガリーでは、家名、個人名の順番

で名前を付けられています。

6 文化は直流ですか？交流ですか？

『人名の世界地図』によると、大部分の民族が『個人名』だけでしたが、古代中国の『姓氏』と古代ローマの『氏族名・家名』が全世界に普及して現在の状態になりました。明治時代の戸籍制度は『徴税』と『徴兵』が目的で、家族に相互監視や連帯責任を求めたと聞いた事が有ります。江戸時代の連座制が色濃く影響しているのではありませんか。勿論、権力者が一方的に『姓』を押し付けても普及するものではありません。家族や親戚による協力関係が『姓』を持つことで得られると考えられます。特別定額給付金が個人にではなく戸主に支払われた背景がそこにあるような気がします。

日本では介護施設を利用する高齢者が増加して、要介護度が低い高齢者は自己負担率が高まってきています。例え遠く離れて住んでいる家族が生活保護を受けると非難されたお笑い芸人がいる様に、ゆとりが有ろうと無かろうとしわ寄せは家族の元にやって来ます。さらに感染症が拡大して医療崩壊が起きている現在、家族の負担増は加速される一方です。今後、家族に対して厳しい状況が続くことは間違いありません。追い詰められる家族への精神的な支えになるように戸籍制度の活用は重要になると考えています。

夫婦で夫の家族の介護・医療を行う場合、妻が夫の姓を名乗る。

夫婦で妻の家族の介護・医療を行う場合、夫が妻の姓を名乗る。

夫婦で双方の家族の介護・医療が行えないが、夫婦間で行う場合、新しい姓を名乗る。

夫婦で双方の家族や夫婦間でも介護・医療が行えない場合、姓を持たない。

という事になるのでしょうか。

水沼高志（みずぬま たかし）

1948年10月25日生まれ。成蹊大学工学部工学研究科卒業 1974年 神奈川県庁勤務 1974年 工業試験所移動 1976年 神奈川県庁退職 2010年 ジャパン-ヒューマニクス（株）取締役



「鉄道輸送研究会」の思い出

神奈川県異業種連携協議会
専務理事 芝忠

日本の鉄道は1872年(明治5年)新橋-横浜間で開通しました。渋沢栄一氏が日本の鉄道事業に深くかかわっていたことはTVドラマで紹介されています。

さて、鉄道開通150年である2022年は、筆者が永年読者の一人である「鉄道模型趣味(TMS)」という雑誌が創刊75年を迎え特別なイベントが企画されています。近年鉄道ファンが急増しており、旅鉄・乗り鉄・撮り鉄・模型・旧跡探訪等々、女性ファンも増えており、喜ばしいことです。ただし迷惑行為も増加していることには気を付けなければなりません。私も新幹線の駅で、ドクターイエロー(軌道試験車・黄色塗装)が急に入線してくるというのでホームの下側からカメラを構えたら、安全ラインをすこしはみ出していたみたいで、ピーピーと笛で注意されました。「違法」な行為は大抵安全面での配慮が不足しているからです。

1947年「鉄道模型趣味」誌(以下TMS)が創刊されたころは、まだまだ実物を対象とした鉄道専門誌は非常に少なく、TMS誌が実物の情報をも提供する数少ない趣味誌だったそうです。現在は、実物誌・模型誌合わせて10誌位あるでしょうか。

有隣堂横浜伊勢佐木町本店には「鉄道関連の書籍・雑誌コーナー」が設置されていますので、筆者もときどきのぞきに行きます。

神奈川県異業種グループ連絡会議(当時)は設立時から県の支援を受け、中小企業の「連携事業」を幅広く推進していました。困りごとの相談があると、その解決策のため、異業種からの仲間を集め、「事業化推進プロジェクト」を設立、担当コーディネータには謝金が支払われる仕組みでした。コーディネータも最大18人も委嘱していたので多数のプロジェクトを設立・運営していました。

そうこうするうちに鉄道が好きだという人間が集り始め、相互の情報交換をしようではないかということになり、すでに先行している「物流機器研究会(後に物流研究会と改称)」を参考に趣味的にも共通するメンバーを集めて「鉄道輸送研究会」を1997年(平成9年)設立しました。

コーディネータの重鎮である根岸良吉氏(元神奈川県工業試験所長)、八幡敬和氏(コーディネータグループ代表)を先頭に、相鉄グループから与本氏、女性の販売研究会の出口氏など10名前後でスタート。

早速、相鉄の柏台車庫の見学、神奈川臨海鉄道の本牧=根岸線の見学と試験乗車、旧国鉄信越本線横川=軽井沢線の見学、東急車両製造会社の見学、などをおこないました。相模鉄道柏台車庫では電気機関車や使用されていない貴重な貨車をまじかに見たり、神奈川臨海鉄道ではディーゼル機関車に添乗させてもらい、運転席に6人がすっぽり入る広さにびっくり、さらにC56型蒸気機関車の保存車にもびっくり。ボランティアがしょっちゅうきてピカピカに磨いているとか、いまにも走り出しそうな状態。同社の見学には昵懇にしていた、元県の部長さんが社長をやっていたので便宜を図っていただき感激。機関車に添乗できるなんて思ってもいなかった。

われわれはどっちかと言えば趣味的な関心事だったが、仕事のあっせんとしては、京急百貨店上大岡店開設の際、イグレン販売研究会参加要請、そごう横浜店婦人服売り場への紹介、東京地下鉄メトロの駅販売店への紹介。横浜高島屋のイベント出展の活用など、多少鉄道関連事業への関わりを果たした。人脈を多面的にたぐりよせて考えた成果だ。

こうした交流・あっせん機能は、人脈がどれだけ幅広く集められるかが重要だが、予め想定しておくことは難しい。事柄が発生して初めて有効な人脈を手繰り寄せることとなる。京急百貨店の場合は、鉄道がらみで東急電鉄から手繰って行っ

た。東急電鉄へは東急車両から紹介してもらった。東急車両へは我々が事務局を担当していた異業種グループのメンバー企業が東急車両の構内下請けで仕事をやっていたからです。その人脈で筆者は関東学院大学の学生を会社見学にお願いしたこともある。金沢八景にある東急車両製造会社は、現在はJRの総合車両製作所になっていますが、本来は見学も簡単ではなく、製造受託している鉄道車両はデザインなど、全て発注元の所有で、いわゆる納品前の製品となり、写真撮影は原則禁止です。製造工場から京浜急行線金沢八景駅へ運送される直前の[新車]の撮影も禁止です。――もっとも鉄道ファンが夜中(たいてい出荷時間は遅い)に集まって撮影することは妨げられない――(笑)。

色々交流・あっせん活動をやっていくと思わぬカタチで複合的に重なってくることもありました。

「鉄道輸送研究会」自体は「鉄道輸送」そのものにあまり貢献していませんでしたが、関連人脈を効果的に活用していたということになります。

研究会はその後、重鎮のお二人が亡くなり、自然休会となりました。

随分昔の話ですので、十分な資料を掘り起こせないのが残念ですが、イグレンネットワークの一端を御理解いただけると幸いです。

オミクロン型で終結したいウイルス問題

神奈川県異業種連携協議会

編集担当 加藤文男

コロナウイルス感染に関して、第11号、第12号そして第13号と3回にわたり、コロナウイルス拡散防止のための特集を組み、皆さんから提供していただいた資料を提供してきた。コロナが発見され問題になってからすでに2年を経過したが減少の傾向はみられるがまだ鎮静に至っていない。

グラフを見ると11月から激減しているように見えるが年末から年始にかけて微妙な増加がみられる。これが第6波の兆候にならないければよいと願っている。

マスコミ報道では、いつも感染者数の推移だけが話題になる。感染しても順調に回復すればよいが後遺症に苦しんでいる方が相当おられるようだ。まだ公的な実績と苦痛の実態も明確ではない。今回は後段で後遺症問題を取り上げた。国民全体がこの実態を正しく理解すれば、更に拡散拡大防止に効果的と思われる。どう行動すべきかをグラフと専門家のご指摘から考える機会にしてみたい。

1 最近のコロナ感染状況

2021年8月20日にはコロナ感染者が2万5000人超を記録したが、それ以降急速な減少をみせた。ピーク時のおよそ2%にまで減少した計算になる。この劇的な変化について英ガーディアン紙が10月13日、『瀬戸際からの復活：日本が新型コロナの驚くべき成功例になった理由』と題する記事を掲載し、目を見張る状況の変化であると報じたほどである。

急激に減少の理由は、国内でもはっきりとした説明が確立していないが、ガーディアン紙も断定的な理由づけを行っていない。ただ、2つの要因が大きく影響した可能性

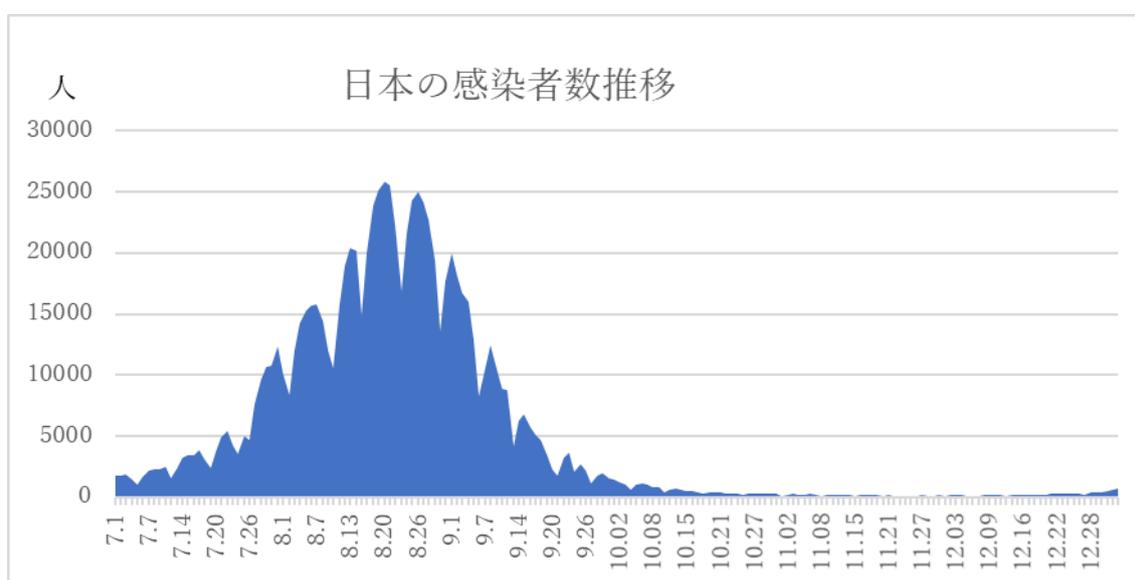
があるとみている。

1つ目は、ワクチン接種の浸透だ。日本は接種の開始時期こそ諸外国に遅れを取ったものの、現在では人口の約65%がワクチンの2回接種を終えており、これが新規感染を食い止めた可能性がある。

一方、イギリスで必要回数接種を完了している率は現時点での日本と同程度だが、ここ1~2ヶ月ほどは伸び悩んでいる。オーストラリアは55%前後と、日本を10ポイント程度下回る。両国では反ワクチン・デモが行われ、警官隊と衝突して負傷者を出すなどしている。アメリカの完了率もオーストラリアと同程度で、なおかつ伸び悩んでいる。

2つ目の要因として、マスク着用への抵抗感の少なさが幸いした可能性があるという。ガーディアン紙は「諸外国が屋内その他でマスク着用義務を緩和する一方、多くの日本人は思い切ってマスクを外すことを想像しただけでも身震いしている」と述べる。パンデミック以前から風邪やインフルエンザなどの予

防で冬場のマスクは習慣化しており、着用に抵抗が少なかったことが要因のひとつとして考えられそうだ。このほか、夏場のピーク自体が季節性のものだったとみる専門家もいる。エアコンを利用する夏冬は窓を開けづらくなり、感染症の流行につながる環境が生まれやすい。



2 専門家も説明できない感染者の激減

2021 年年末から 2022 年正月に入っ
ての感染数は、気になるところ
であるがグラフが示すように 2021 年
11 月に入ってからグラフに現れな
い位の小人数しか感染がなく、激減
を示している。

品質管理における問題解決は、原
因が明確になりその原因を排除す
ることで再発防止の歯止めをかけ
たと安心する。現在の状況では、ワ

クチンの効果と説明するがこれだ
けで歯止めがかかったとは言えな
い。新聞の掲載記事やテレビの報道
から激減の要因を分析した結果に
ついての専門家の意見をまとめてみ
た。

(1) 専門家の見解から

次の 4 人のご意見は 2021 年 11 月
8 日の日本経済新聞で報道された内
容である。それぞれの専門家として
の立場で素人にも非常にわかりや
すく解説されている。素人判断であ

るが紹介を試みる。

- ① 東邦大学館田一博教授
日本感染症学会前理事長
一時的に強い集団免疫

ワクチンの効果と基本的な感染対策の徹底が非常に強く出たことを上げておられる。7月から64歳以下の接種が急激にワクチンの効果が最も強い状態の数千万人の集団ができた。ワクチン接種が急速に進み、同時にタイミングよく不顕性感染を含めて免疫を持つ人が急増したことで、国内で一時的な集団免疫効果が強く表れ、8月半ば以降に感染者が急減した可能性があるのではないかとの説明である。また、「日本では基本的な感染対策が文化として定着しつつある。マスクを着用し密集を避け、十分換気する。緊急事態宣言解除後も会食を控えるなど対策を一気に緩めていない。人出は増えても多くの人々が用心し続けていることが感染者数を少なくしている」と解説された。

英国やイスラエルなどワクチン接種が先行した国では、ワクチン効果による免疫力が弱まった時期にデルタ型が流行し、接種した人も感染する「ブレイクスルー感染」が増えた。日本も早く接種が済んでいれば同じように状況になったかもしれないとの予測もある。

- ② 松浦善治阪大特任教授

日本ウイルス学会理事長
変異型重ねた末に自滅も

「ワクチン接種が進んだことが指摘されるが海外でも接種が遅れたインドネシアで患者は減り、タイやロシア、英国は増えてきた。ワクチンだけでは説明できない」としてウイルス側に理由があるのかもしれないと説明された。強い感染力を持つ新型コロナのデルタ株は、「あまりにも多くの変異を起こしすぎ、人間に感染した時に増えるのに必要な物質を作らせる遺伝情報が壊れるなどして自滅しつつあるのかもしれない」と説明された。「これからも新たな変異株が現れるだろう」とこの時まで言われていなかったオミクロン型のウイルスの発生も予測され、「新型コロナウイルスが人間に流行して約2年ウイルスが人間とどう折り合いをつけるか過渡期にある」と解説されている。ウイルスはRNAやDNAが入った微小なカプセルで生物ではなく意思も持たないがこうした新しい感染症は続々と現れるだろう。「新たな流行を見越して、感染症に詳しい医師や看護師の育成や正しくわかりやすい情報を発信する体制づくりを進める必要がある」との提案もあった。

- ③ 黒木登志夫東大名誉教授
日本独自の型で変異か

デルタ型ウイルスは、新規感染者

数の増え方も減り方も指数関数的だ。感染のピークが何度も現れるのは世界共通だ。1918～1920年のスペイン風邪の流行をはじめ天然痘やポリオ、麻疹でも明瞭なピークを繰り返した。この現象は数理モデルで説明できるがそれにしてもデルタ型の増減は急すぎる。

デルタ型は変異を繰り返し、より感染力が強いものに置き換わっていった。既に天然痘や水ぼうそう並みのこれ以上はないような感染力を獲得している。特に国内では「日本独自のデルタAY/29型が第5波の主流で、これが終息に向かったのではないか」とある「遺伝子領域に変異が追加され感染性が失われると言ったことが起きている可能性がある」と仮説で説明された。そして、「今後、新たな感染の波が起きるとしたらデルタ型とは異なる新しい変異ウイルスが入ってきたときだろう。すぐ検出できるようにPCR検査とゲノム解析を増やすべきだ」との提案も紹介している。

④ 仲田泰裕東大准教授 行動制限の効果は不明

「8月後半からの感染者減は多くの人の想定を超える速さだった」として、デルタ型の感染力が想定以上に小さかった可能性、報道で医療逼迫を知り、感染しやすい行動を避ける人々はリスク回避をしたこと、デルタ型の周期性の3つの要因で

分析された。この時点でデルタ型を超える感染力の強い変異型は出ていないからと説明されていたがその後オミクロン型が表れて、世界各国に感染拡大している。我々の行動制限で感染拡大を拡散防止できない難しさがあることを示している。

3 慎重な行動で終結したいコロナ問題

政府コロナ分科会は、年末年始にさらなる拡大を防止するために「感染リスクが高まる5つの場面」を想定して発表した。

日本人は、アルコール付きの食事会でコミュニケーションを図ってきた。2年前のコロナ禍発生で行動や食事など自主規制でコロナ拡散防止に大きく貢献してきた。しかし、これが解禁されるとついつい言動にゆるみが出るような気持になる。しかし、もうしばらく我慢のしどころである。もう一度気を引き締めて終結にしたいものである。

① 飲酒を伴う懇親会などで注意力の低下や大声での会話が感染の原因に回し飲みや箸などの共用がリスクを高める

② 大人数や長時間に及ぶ飲食接待を伴う飲食、深夜のはしご酒に注意

5人以上では大声で飛沫が飛びやすくなる

③ マスクなしでの会話

昼カラオケや移動中の車内も注意が必要

④ 狭い空間での共同生活

学校の寮の部屋、トイレなどの共用部分で感染が疑われる事例あり

⑤ 居場所の切り替わり

休憩時間の更衣室や喫煙所などで、気のゆるみから感染リスクが高まる

4 恐ろしい後遺症の実態

(1) 後遺症の症状と特徴

コロナに感染すると5日前後で発熱や咳、息切れなどが起きる。発症した人の約8割は、1週間ほどで回

復する。しかし、その後コロナ後遺症で長期間悩み続ける人も多いという。明確な定義はないが感染から4週間以降に見られる症状を一般的に後遺症と言う。

日本国内に後遺症のある方が8万人から24万人いると推定されている。ブレインフォグとか倦怠感、記憶障害、気力喪失を訴えても、一般的な「なまけ病」としか思われない。従って、症状があっても会社では症状を訴えず、我慢をしている人も多い筈である。

後遺症の主な症状と特徴は次のようになると言われる。

主な症状	後遺症の特徴
ブレインフォグ	脳に霧がかかったような状態になる。 考えたり集中したりできなくなる
倦怠感	激しい疲れを感じる
記憶障害	前日の諸事が思い出せない
気力喪失	気持ちはあるが身体が付いていかない
嗅覚や味覚の異常	コーヒーなどの味やにおいが分からない
頭痛	日常生活が難しくなる頭痛が続く
呼吸困難	軽い運動をするだけでも呼吸が苦しくなる
筋肉や関節、胸の痛み	全身に痛みを感じず
呼吸障害	眠りが浅くなる
脱毛	高齢でもないのに髪の毛が抜けてしまう
アトピー	障害の悪化

一般の人たちが新型コロナに感染した場合、たとえ重症で後遺症として症状を訴えても認定されるまでにならない。新型コロナによる後遺症は、具体的な症状が明確にならないためである。理由は情報が少な

いことにある。実際には多いと考えられる後遺症であるが認定されて休暇を取るなどまで認められている例は少ない。

コロナに感染しても若い人は、症

状が軽いと侮ってはならない。若い人たちが数人夜遅くまで自宅に集まって飲み明かし、コロナに感染して後遺症がひどく、反省しきりの人もいる。若い人の症状は軽いが後遺症に悩む比率は高いともいわれる。後遺症に悩む比率は感染した人の2割程度と言う話もある。患者は、30から40歳代が中心であるが60歳代までがほとんどであるという。

(2) コロナ後遺症4人に一人

国立国際医療研究センターは、2020年10月11日までに新型コロナウイルスに感染した人の4人に1人に半年後も後遺症症状を訴える人がいると発表した。(457人へのアンケート調査結果から、2020年4月～5月に感染した人対象)

長く続く後遺症症状は、だるさ、味覚や嗅覚の異常、呼吸の息苦しさがある。回復後にでた症状では、脱毛、集中力の低下、記憶障害、うつ症状などと同じような症状がでる。

発症後または、診断されてから半年後も約26%に何らかの後遺症が見られた。1年後も約8%に症状があった。全体として次のような傾向がある。

- ① 女性はだるさの症状が2倍以上出やすい。
- ② 味覚や嗅覚の異常は、女性のほか若い人、痩せている人に出やすかった
- ③ ワクチンを打った人には症状が残りにくい

④ ワクチンは重症化の予防にもなるし、後遺症の予防にもなる

(3) 大学や研究機関の報告

各国の研究機関から後遺症に関して報告も各種ある。

① 米国NPO「フェアヘルス」が米国の約200万人の健康保険データ

- * 感染時の症状が重かった人ほど起きやすい。
- * 無症状でも可能性がある。
- * 感染時に無症状でも感染の約1か月後に19%に後遺症が見られた。

② 2020年オックスフォード大学による約24万人の後遺症のデータ

後遺症には、倦怠感や咳、発熱の肉体的な症状もあるが神経や精神の症状もあることに注意が必要である。感染の半年後までに神経や精神関連の病気の診断を受けた人が34%もあった。このうち3分の1はこれまでにこの種の診断を受けたことが分かった。強い不安が続くなどの不安障害が全体の17%と最も多く、うつなどの気分障害が14%あった。

③ 慶応大学 福永興壺教授

後遺症の中には、頭の中に霧がかかったような「ブレインフォグ」と言う症状を訴える人もいる。

日本のデータでは、2020年1月から2021年2月間に感染して入院し

た 522 人を対象とする症状では、感染して 6 か月後の自覚症状を調べると疲労感や倦怠感、21%、息苦しさ 13%、睡眠障害 11%がある。ただし、80%の人は元に戻ったと回答した。

④ 感染症外来を開設の聖マリアンナ医科大学病院

後遺症には倦怠感や息切れなどひどい場合には、仕事や生活にまで支障が出る場合がある。厚生省のデータでは、疲労や倦怠感が最も多く 21%、息苦しさが 13%、睡眠障害、思考力・集中力の低下が 11%、脱毛が 11%、頭痛、味覚障害、筋力低下がそれぞれ 9%、嗅覚障害が 7%となっている。

コロナ感染だけでなく、後遺症については、その症状を自分で発表し難く、自分だけではないかと悩んでいる患者も少なくないという。感染者の約 20%に後遺症があることを知るだけで精神的に楽になるかもしれない。脱毛のように比率は小さいが感染してしばらくしてから現れる場合もある。後遺症ではないが、以前からの病気が悪化するケースもある。

⑤ 米国テキサス大学のアルツハイマー病院協会会議での調査発表

病状回復から、3~6 か月後に 6 割以上の人に認知機能障害がみら

れた。3 人に 1 人は、重度の障害。しかし、後遺症の起きる仕組みはまだ不明確な部分が多く、対策もし難い。英国キングス・カレッジ・ロンドンでは、2 回目のワクチン接種から 7 日以降に検査で陽性になった約 900 人の調査結果である。2 回接種を終えてから感染する「ブレークスルー感染」をした人のうち、症状が発症から 28 日以上続いた人は約 11%と低かった。感染前に接種していると後遺症の発生が半分になった。ワクチンの接種により、感染を防止できるだけで無く、感染後の病気を改善し、後遺症を予防できることが初めて示唆された。(カレッジ客員教授のペニー・ウオード談)

(4) 後遺症経験者の報告

① 中国武漢の報告

中国でも、入院した人の約 5 割は、発症から 1 年後に何らかの症状を訴えていた事例がある。

後遺症とは、感染から 4 週以後に様々な症状が継続することを言う。2020 年 1 月~5 月に中国武漢の病院を退院した元患者 1300 人の経過を英国医学会誌への報告である。

このうち約 7 割の人は、病院で酸素投与を必要とした。発症から 1 年後に病院での確認では、全体の 49%が何らかの症状を抱えていた。半年後の時点では、68%が訴えており、減ってはいるが高い割合であった。倦怠感や筋力低下が 20%、睡眠障害が 17%、関節痛が 12%と言われる。

② 「人生壊れた」と苦しむ19歳女子学生の願い

後遺症に苦しむ大学生は「感染者数が減っている今こそ、後遺症患者に目を向けて欲しい」と強調している。

この女子大学生（19）は11カ月間、嗅覚障害と倦怠（けんたい）感に苦しんでいて、ひどい日は夕方まで起き上がれないこともある。若いから大丈夫と思いがちな同世代に、自分のようなつらさを味わってほしくない、話を聞かせてくれた。この女子大学生は「やりたいこと何もできなくなってしまって、コロナに感染して人生が壊れてしまった」先が全く見えないので、今はそうとしか表現できないと嘆く。

感染は2020年11月のこと。39度の熱と、咳や息苦しさがあり、9日間入院したが、このときは軽症でした。臭いを感じにくい、疲れやすいなどの症状は少し残っていましたが、異変が起きたのは、退院から2カ月後のことです。ある日突然、お肉を食べていたら、「ものすごく臭い」と感じた。今まで嗅いだことのない臭いを感じて、反射的に口から出してしまった。その臭さが今でもずっと続いていて、排ガスの中でずっとごはんを食べているような感じと言う。その後口にできるのはそばなど僅かな食材のみで、体重は

3キロ落ち、栄養剤に頼るようになりました。

憧れを抱いて入った大学は、後遺症のため、4月から半年、休学した。まだ、復帰できず、1年（休学）することになるとは、最初は思っていなかった。この女子大学生は、これからの後遺症患者のために私の経験を生かしてほしいと強く願っています。

③ 高齢者のコロナ後遺症事例

新型コロナウイルスに感染した高齢者の後遺症は、アルツハイマー病に多く見られる認知障害が高頻度に起きるという報告がある。

コロナ感染症がアルツハイマー病の症状を振興する懸念も指摘されている。後遺症が起きる仕組みや治療方法はまだ不明な点が多く、ワクチンの接種と感染防止策が重要である。

米国テキサス大学では、アルゼンチンに住む60歳以上の感染者約200人について回復から3～6か月後の認知機能を調査した。（アルツハイマー病協会国際会議発表）

新型コロナに感染して回復した60歳以上の6割以上に物忘れや言語障害などの認知機能障害がみられた。このうち3人に1人は、重度の障害であった。しかし、認知機能障害の重症度と相関はなかった。ガブリエル・エラスキン教授は、「新型コロナ感染症は認知機能障害の

リスクを高める可能性がある。ただ障害が持続的かどうかは注意が必要だ。」と考えており、研究対象者を数年間調査して長期多岐な影響を調べる予定。

米国ニューヨーク大学は新型コロナウイルスの入院患者約300人の血液成分を調べた。神経症状のある新型コロナウイルス患者は、症状のない患者に比べて、アルツハイマー病に関連するたんぱく質「タウ」などの量が多い傾向にあったと国際会議で報告した。同協会ヘザー・スナイダー副会長は、「報告されたデータは新型コロナウイルスへの感染が持続的な認知障害やアルツハイマー病につながるという憂慮すべき傾向を示す」とコメントしている。

④ 健康に自信のあった経営者の報告

「健康な自分がコロナにかかるという認識はありませんでした。感染するわけがないと思っていました。常にマスクをしていました。マスクをしていたので正直私がなぜ感染かなと思いました。東京に出張するときも、空港から目的地にはタクシーで行って公共交通機関に乗らないように注意していたのに…」

最初の症状は39度ほどの熱でした。入院してから1週間ほどは熱や咳といった症状だけで、数日後には退院できると思っていました。ところが、容体は急激に悪化しました。

入院から8日目、男性は突然、意識不明となり、より高度な治療が受けられる病院に救急搬送されました。あっという間に悪くなるという感じでした。そのままICU＝集中治療室に入り、人工呼吸器を装着され治療を受け、治療の結果、なんとか一命を取り留め、最初の入院から27日目によりやく退院しました。しかし、それで終わりではありませんでした。

ある時、節々が痛くて夜中に目が覚めました。これは感染当時の症状ではなく、5か月たった今も続く後遺症です。「人と話しができないくらいせきがでて夜は寝られないことがずいぶん続きました」

新型コロナウイルスの後遺症の中に節々が痛むってというのがあって、私も咳が終わったら次はそれでした。節々が痛いという状況でリュウマチのような症状がでてきて、関節の痛みで夜中に目が覚める状況が続いています」医師からはリュウマチではなく、治療法はないといわれました。痛み止めの薬などを飲んでなんとかしのいでいますが根本的な症状は改善していません。痛みでぐっすりと眠ることができず、膝の痛みであぐらもかけなくなりました。

後遺症は、感染から5か月以上たった今も男性経営者を苦しめています。

「コロナをなめちゃいかん」一時、意識不明の重体に陥り、退院後も後

遺症に苦しみ続ける経営者の証言 　　　　　　です。

シリーズ： 現場力の再構築を目指して

基本に戻ろう企業経営 5

5Sは、経営の基本

食品製造業では、7SプラスDを

神奈川県異業種連携協議会
理事 加藤文男

1971年のニクソンショック、1985年のプラザ合意、そして1973年、1979年の石油ショックで為替レートは大きく変動し円高になり、物価高や労働賃金の上昇などで日本国内における生産活動は大きく制限されました。国内の多くの製造機器メーカーは、国際調達や海外生産に切り替えざるを得なくなりました。更に輸入規制などが加わり、日本の製造業は、海外への工場移転や海外生産に大きく方針変更をせざるを得なかったのです。

日本の製造業は海外に新しい工場を建設するにあたり、全従業員にまず「5S」を徹底することから始めたのです。海外から部品や製品を調達するにあたり、その完成品の品質を維持するために海外の取引先には、5Sの採用と実戦を要求しました。海外に建設した日系企業の製造工場には、どこの工場でも製造ラインのある工場では「5S」の掲示が見られるほどに徹底したのです。

5Sの起源は、明確ではありませんが、日本では古くから丁稚奉公など子供の時に商家などに預けられ、番頭さんなどから商人としての基本的マナーから徹底的な指導教育がなされた。朝の挨拶の方法はもちろんのこと、家の前の道路の清掃、更に開店前の販売する品物にハタキをかけてほこりを取るなどの清掃など、整理・整頓を手取り足とり厳しく教えられました。商家での教育では、髪の手入れや服装の身だしなみを躰として厳しく指導されました。

中学卒業と同時に川崎に出て大工の見習いに入り、親方から厳しくつけられ頭領になった同級生がいました。彼は会うたびに「現場をきれいにしておけない下職人にはろくな者がいねえ」といつも聞かされたものです。彼は、ひとつの家を完成するまでに水道工事、電気工事、内装工事、屋根瓦職人などいつも多くの職人を下請けに使っていましたが彼の下請けを選

ぶ基準は、使用する道具を大事に丁寧に扱い、現場をいつも綺麗にしておくかどうかだと口癖でした。毎日工事をするたびに現場を綺麗にできない職人の仕事のでき映えは良くなかったという経験からでした。

このように日本人には、昔から働く場所だけでなく周辺まで綺麗にしておくという伝統が培われてきたのです。現在企業経営者だけでなく企業の幹部社員まで、整理、整頓、清掃、清潔、躰の5Sを経営の基本、品質管理の基本として指導、教育されており、知らない人はいません。更に5Sは、安全管理の点でも重要視されています。現在5Sは、多くの企業において当然実施していると信じられています。そして、5Sは、熟知しており、従業員教育も徹底していると多くの経営者が疑いを持っていないようです。しかし、事業経営が順調に推移し、多忙な毎日を過ごしていると当然実施されているはずのことに気の緩みが出てきます。日々の小さな変化にはなかなか気づかず、経営者が期待するほど徹底されていないものです。

これを機会に見直してみてもいいかがでしょうか。

I 5Sとは経営の基本

5Sとは、整理（SEIRI）、整頓（SEITON）、清掃（SEISOU）、清潔（SEIKETSU）、躰（SITSUKE）の頭のSをとったものである。これらの言葉は、日本語であるが、世界各地の日系企業の工場においてもそのまま5S（Five

S）として使用されている。食品製造業では、これだけでは十分機能しないので清潔のレベルを洗浄（SENJOU）と殺菌（SAKKINN）、更に洗浄した後に乾燥させる意味で乾燥（ドライ化（DRYUP）を加えた7SプラスDで実践される。

5Sは、品質管理の基本であり、経営の基本とも言われる。まず、5Sについて解説し、食品製造業については、7SプラスDを詳細に解説する。

（1）整理（SEIRI）

① 整理とは

整理は、5Sで最も大事な作業である。整理が出来ないと、整頓も清掃もできない。

整理とは、不要なものは捨てることを意味する。当面使用しないものは、指定された保管場所に保管する。整理の対象となる場所は、工場であれば、作業者の作業台及びその周辺、工場内、倉庫内などの床、棚、保管するスペースすべてがその対象となる。その対象は、原材料、部品、仕掛品、製品などの在庫品だけでなく、機械、設備、治工具、金型、台車、机、椅子、車輛、備品などの対象となる場所に見えるもの全てが含まれる。

② 整理の手順

整理をするためには、まず工場全体を良く観察する。次に必要なものと不要なものを分類する。更に必要なものも常に使用するものと時々しか使用しないものに分類する。必要ないものやいつ使用するかわからないものは、

価値のあるものとないものに分類する。価値のないものは直ちに廃棄処分する。価値がありそうで死蔵品となっているものは、売却処分を検討する。サービスパーツなども期限を定めてそれを超えるものは処分する。設備についても同様の判断をする。処分は、その一覧表を作成して、現場の意見をよく聞いて客観的に判断し、他部門とも協議しながら最終決定すると良い。対象となる場所には必要とするものだけにすることが重要である。

③ 繰り返し実行する

原材料も設備も時間と共に増えるので、整理は繰り返し実行することが大切である。

(2) 整頓 (SEITON)

① 整頓とは

5Sの二番目に行う大事な作業である。整理の後に必要で価値があると判断したものは、必要なものが必要なときに必要なだけすぐに取り出せる状態にしておくことが大切である。必要なものがあることがわかっているにもかかわらず取り出せない状態では、効率が悪く、意味がない。数量も明確であり、一目でわかるようにしたい。

② 整頓の進め方

整頓は、まず仕分けし、分類する。次に使用頻度など順番を考えて、場所や位置を決定し、指定する場所に置く。すぐ取りだせると共に残りをすぐ戻せることも大切である。置く場所を考え、レイアウトを工夫する必要がある。

③ 整頓の実例

整頓の一例として床や通路にはつきりと区分表示することから始めたい。作業する場所と歩く通路は色で区分する。区画する線は、黄色や白など目立ちやすいものを選ぶ。

④ 表示を明確に

置き場所を決定して整頓する際、仕分け分類したものの名称や数量を明確に表示する。

(3) 清掃 (SEISOU)

① 清掃とは

整理、整頓した状態を作り上げ、これを保つことである。ただ単に掃き清めることだけではない。作業する周辺もきれいにする。また、作業で汚れたらすぐきれいにする。

② 清掃の対象

清掃の対象は、機械、計測器、治工具は勿論のこと、机上、床や窓など建物全体を見て決定する。

③ 清掃の進め方

清掃は、汚くなったらすることではなく、定期的に清掃をすること。時間の経過と共に目立たない汚れが生ずる。共通の場所は、担当者を決めて清掃し、清掃状況をいつも確認する習慣を付けること。設備は、その使用責任者をさだめ、名前を表示する。また、作業の区切りのついたときに清掃をする。汚れの原因を見付け、その発生源を断つことが大切である。

(4) 清潔 (SEIKETSU)

① 清潔とは

職場環境を清潔な状態に維持する

と共に作業環境を清掃した状態を保つことである。作業者は、身なりを整え、人に不快な思いをさせないことは言うまでもない。工場における清潔な状態とは、作業環境として作業者に不快な思いをさせる騒音や振動のないこと、異常な臭気を感じないこと、快適に作業できる気温に保たれていること、作業するに十分な明るさを与える照明の設備があることが含まれる。

又、原材料や完成した製品の運搬に必要な通路や保管するスペースが配慮される条件も含まれる。

② 清潔の進め方

まず、作業員や事務員は、鏡を見て顔色、身なりをチェックすることも含む。朝の作業開始前、昼休み作業開始前に自分の身なりを整えることを忘れてはならない。いつも人に不快な思いをさせる原因は何かを考え、それを排除することが重要である。次に職場環境が上記の条件にあることを評価し、改善・向上を図れること作業環境が清掃された状態か否かを評価し、すぐに改善・向上を図ることが大切である。

(5) 躰（しつけ）

① 躰（しつけ）とは

全社員が、決められたことを決められたようにいつでも守る習慣をつけること。

② 躰の進め方

組織のルールとして、決めたことを必ず実行する習慣をつける。常に5Sの状況を観察し、乱れたときには修正

する習慣をつける。そのためには、リーダー自ら、率先垂範し、実行することが大切である。実施していないことを見つけた場合には、指示して直ちに実施させることである。

II 食品製造業においては、清掃のレベルアップで清潔に

1 5Sでは解決できない食品安全

もともと5Sは、工業の分野で生まれたもので、その目的は、効率化、能率の向上である。整理、整頓し、清掃をすれば、必要なものがすぐに見つかり、ごみが残ればすぐに見つかり、作業のスピード化が図れる。また、先入れ先出しや在庫管理が容易となってまだも発見され、ロスの減少につながり、コストダウンが図れる。

従って、一般の工場や事務所における清掃では、掃除機を使用してごみを吸い取ることや汚れを雑巾で拭きとるという作業でほとんどの問題は解決する。また、工業における5Sの清潔は、作業環境や作業員の衣服や髪、作業をする手などの目に見える清潔であって目に見え難い微生物を対象とした清潔は重要視されない。

しかし、食品工場では、製造に使用する設備、器具、機材など清掃してきれいになったように見えても人間の目で見えない微生物が残っている可能性がある。使用される原材料さえも微生物が含まれていれば、食中毒の原因になる恐れがある。

食品製造業では、食中毒の発生は経

営にとって致命的である。一般工業分野における5Sの清掃の徹底では清潔のレベルを維持確保できない問題が残る。

ここに食品製造業では、機械工場の5Sのような見た目の清潔だけではなく、微生物汚染を対象としたレベルの清掃のレベルを上げて微生物による汚染度を基準レベル以下にする清潔にすることが要求される。

食品加工のための機械設備、治工具などから微生物を洗浄し、更に強度の高い微生物を殺菌することが必要となる。また、工程により、洗浄後に乾燥させることで微生物の増殖を防止することができる。この乾燥（ドライ化）も清潔を維持するために効果的である。

こうして食品製造業では、5Sに洗浄と殺菌の2Sと乾燥（ドライアップ）Dを加えて、7SプラスDとして実施する。

2 2S（洗浄、殺菌）とD（ドライ化）

（1）洗浄（SENJO）

① 洗浄とは

洗浄とは、食品製造業において製造設備、器材、治工具など製造環境を含めて目に見える食物残渣だけでなく微生物レベルを洗い流し、洗浄・除去することをいう。

製造設備、器材、治工具などに食材などの原材料に付着し、汚れているものは、目で確認し、洗い落とすこと（洗浄）がある。しかし、一見してきれいに見えていても微生物で汚染されて

いる場合がある。微生物は、時間の経過と共に増殖するのが普通であり、使用后増殖する微生物を洗浄してできるだけ少なくする。更に次に使用する前に洗浄し、微生物レベルまで除去する必要がある。

② 洗浄のタイミング

食品製造業においては微生物汚染による食中毒が最も重要である。洗浄は、清掃や清潔の一部として捉えても良いが、食品製造業においては、6番目のSとして取り上げ、管理する。洗浄は、作業が終了した時点で実施することにより、残渣に繁殖する微生物をできるだけ少なくする。器材や治工具の使用後の洗浄は、次の作業を開始する前の洗浄を短時間で済ませる効果がある。洗浄をタイミングよく行うことで次の工程である殺菌の効果を高めることができる。しかし、殺菌工程があるからといってこの洗浄をおろそかにしてはいけない。

（2）殺菌（SAKKIN）

① 殺菌とは

殺菌とは、有害な微生物を減少させることや除去することであり、残された微生物を一定以下のレベルに増殖させないようにコントロールすることである。同様な言葉として、「消毒」「滅菌」「除菌」などもあるがここでは、有害微生物を一定以下に制御する意味で使われる。殺菌は、食品による危害を与える微生物汚染を防止するために器材や治工具だけでなく、食材を汚染した微生物や食品製造工程に

において混入した微生物を減少させること、微生物を一定以下に増加させないことを目的としても行われる。食品製造業においては、7番目のSとして考えておきたい。

② 適した殺菌方法とノウハウの確立を

殺菌は、清掃し、洗浄した後、直ちに行うことが効果的である。殺菌をしても時間の経過と共に空気中に浮遊する微生物がついて増殖する。食品製造業では、食器などの機材には、薬品を使用することもある。しかし、殺菌する薬品も制限される。薬品の使用できない食品の原材料には低温や高温での殺菌がある。その場合殺菌する温度の時間管理も重要になる。食品の食感、味を損なわずに殺菌できるノウハウを確立することがポイントである。

(3) 乾燥ドライアップ (DRYUP)

① 乾燥 (ドライアップ) とは

食品による危害の原因となる微生物は、製造設備や治工具などの温度、水分、栄養状態が変わるとその増殖も大きく変化する。食品工場においては、洗浄や殺菌と同様に厨房や食品製造工程の食器や調理用機器・器具を水で洗浄し、拭き取り乾かすことで微生物

の増殖防止に効果がある。食中毒の原因となる細菌やカビは水分を除去する乾燥することである程度防止することができる。乾燥は、清掃作業を容易にすると共に微生物の制御を容易にする効果もある。豆腐製造業や魚類販売業では、加工製造室の床は、常に水で洗い流している。加工に使用した機器や器具は、使用後は洗浄して清潔にする習慣がある。

② 乾燥(ドライアップ)での注意

乾燥することにより、微生物の繁殖を抑えることも可能であるが工程や環境によっては、粉塵を増す原因となる。微生物が乾燥されることで微生物を空気中に放出することにもなる。製造する食品により常に水を流し洗浄し、清潔にする工夫をしている。洗浄と乾燥、殺菌と上手に組み合わせて微生物の増殖を防止する。

以上

加藤文男 (かとうふみお)

通信機器製造会社で品質管理・品質保証部門を担当後、映像機器、通信機器の海外営業、国際調達などを担当。中小企業大学校講師、神奈川産業振興センターのビジネスコーディネータを経て現在イグレン理事。

理論機関誌創刊号目次

- | | |
|----------------------------|------|
| 1 イグレン理論誌の発行にあたって | 芝 忠 |
| 2 イグレン 30 年から学ぶこと | 芝 忠 |
| 3 地域活性化私論 私の秋田移住の 7 年間 | 宮川 豊 |
| 4 国際協力機構 (JICA) 本邦研修実施報告 1 | 加藤文男 |

理論機関誌第 2 号目次

- | | |
|----------------------------|------|
| 1 「脱原発」で考える 第 32 回定期総会記念講演 | 金子和夫 |
| 2 「中小企業振興条例」の具備すべき内容とは何か | 愛 賢司 |

理論機関誌第 3 号目次

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 1 異業種交流シフト 21 と企業視察研修会について | 有村千里 |
| 2 「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進条例」
の充実のために | 愛 賢司 |
| 3 学生は中小企業の広告をどう評価しているか | 芝 忠 |
| 4 新しい時代の茶の湯 | 渋谷英明 |
| 5 国際協力機構 (JICA) 本邦研修実施報告 2 | 加藤文男 |

理論機関誌第 4 号目次

- | | |
|----------------------------|------|
| 1 公設試験研究機関の役割に関する考察 | 芝 忠 |
| 2 モノづくりの効率化へ向けて | 山本俊夫 |
| 3 フクシマ復興応援ネットワークの支援活動報告 | 加藤文男 |
| 4 県内の「中小企業振興条例」の到達点と今後の課題 | 愛 賢司 |
| 5 国際協力機構 (JICA) 本邦研修実施報告 3 | 加藤文男 |

理論機関誌第 5 号目次

- | | |
|------------------------------|-------|
| 1 地球温暖化による極端気象に対応した水災害警報システム | 伊藤幸彦 |
| 2 重心位置測定器を開発して「特許をとれたぞ！」 | 横須賀健治 |
| 3 わが国の異業種交流活動の発展史 その 1 | 芝 忠 |
| 4 身近な環境と健康 1 | 早川成昭 |
| 5 国際協力機構 (JICA) 本邦研修報告 4 | 加藤文男 |

理論機関誌第 6 号目次

- | | |
|------------------------|------|
| 1 わが国の異業種交流活動の発展史 その 2 | 芝 忠 |
| 2 身近な環境と健康 | 早川成昭 |
| 3 「中小企業振興条例」と「経済民主主義」 | 愛 賢司 |

理論機関誌第 7 号目次

- | | |
|-------------------------|------|
| 1 大型モータ修理技術の一大革命 | 藤本俊美 |
| 2 コラム集「春夏秋冬」その 1 | 宮川 豊 |
| 3 現代 IT 社会におけるイグレンの存在価値 | 橋本真幸 |

- | | | |
|---|-----------------------|-----|
| 4 | わが国の異業種交流活動の発展史 その3 | 芝 忠 |
| 5 | テクニカルショウヨコハマ 2018 に参加 | 芝 忠 |

理論機関誌第8号目次

- | | | |
|---|----------------------------|--------------|
| 1 | 「高周波衝撃弾性波法」による非破壊調査システムの開発 | 伊東 修
石川常夫 |
| 2 | マス・カスタマイゼーション化を実践する宝電機工業 | 加藤文男 |
| 3 | コラム集「春夏秋冬」 その2 | 宮川 豊 |
| 4 | 北海道地震に遭遇して | 芝 忠 |
| 5 | 製造業の品質不正問題を考える | 加藤文男 |

理論機関誌第9号目次

- | | | |
|---|-------------------------|---------------------|
| 1 | ロボット・ドローンセンターで減災防災社会に貢献 | 伊東 修
石川常夫 |
| 2 | コラム集「春夏秋冬」 その3 | 宮川 豊 |
| 3 | ものづくり交流・製作研究会報告 | 芝 忠
國重正雄
岡田 俊 |
| 4 | 最近の資材購買と海外調達事情 | 加藤文男
加藤文男 |

理論機関紙第10号目次

- | | | |
|---|-------------------|--------------|
| 1 | 創業100年企業を目指して | 尾下浩一 |
| 2 | まんてんプロジェクト発足のころ | 芝 忠 |
| 3 | イノベーションの変化と対応する企業 | 加藤文男 |
| 4 | 基本に戻ろう企業経営 1 | 愛 賢司
加藤文男 |

理論機関紙第11号目次

- | | | |
|---|-----------------------|-------|
| 1 | 特集 新型コロナウイルスに関する特別寄稿 | 藤原辰史他 |
| 2 | テクニカルショウ横浜 2020 展示会報告 | |
| 3 | 日本のモノづくりに何かが起こっている | 芝 忠 |
| 4 | 異業種交流活動発展史（補足） | 芝 忠 |
| 5 | 基本に戻ろう企業経営 2 | 加藤文男 |

理論機関紙第12号目次

- | | | |
|---|--|--------------|
| 1 | 特集 新型コロナを乗り切ろう
コロナ禍における日本の文化活動状況を考察する
新型コロナの裏で起こっていること | 宮川 豊
加藤文男 |
| 2 | 対話のための図書館 図書館のための対話（1） | 林 秀明
芝 忠 |

- | | | |
|---|--------------------------|-------|
| 3 | 我が経営を語る 大いなるチャンスをいただいた人生 | 横須賀健治 |
| 4 | 「毀滅の刃（きめつのやいば）」フィーバーに寄せて | 芝 忠 |
| 5 | 基本に戻ろう 企業経営 3 | 加藤 文男 |

理論機関誌第 13 号目次

- | | | |
|---|------------------------------|------|
| 1 | 特 集 元気に生き残る企業経営を | 編集担当 |
| 2 | 対話のための図書館 図書館のための対話 (2) | 林 秀明 |
| | | 芝 忠 |
| 3 | ちょっとへんですよ アトキンソンさん | 愛 賢司 |
| 4 | キングダム KINGDOM の世界 | 芝 忠 |
| 5 | テクニカルショウヨコハマ 2021 オンライン見本市報告 | 愛 賢司 |
| 6 | 基本に戻ろう企業経営 4 経営理念を作ってみましょう | 加藤文男 |

編 集 後 記

当イグレンの活動もしばらく停止していましたが12月10日第55回海老名サロンとして久しぶりの開催となりました。講師には「みらい創世舎」の岡真喜子先生にご登場いただきました。会場の様子を表紙に掲載させていただきました。

デルタ型コロナの新規感染者が原因不明であるが第5波では急激に減少し、収束らしいと言う。しかし、第6波は必ずくると言われ不気味である。専門家の方々の意見を調査してみたがどうも明快な見解はみつからない。このような中で11月11日には、南アフリカでオミクロン型という新しい型のウイルスが見つかった。こちらの感染力はデルタ型より相当速いというが詳細はわからないのが不気味である。感染防止対策は、何度も掲載したが3密を避け、手洗いの徹底、マスクの着用、黙食を徹底しかないようだ。

3年前のような安心できる生活は蜃気楼のように又先に行ってしまったのは 誠に残念である。もう一度気を取り直して取り組むしかない。

次号第15号は、2022年6月を発行予定しています。できるだけ広い範囲から自由な内容で多くの方々のご投稿を歓迎します。締め切りは、2022年5月25日です。

加藤文男

神奈川県異業種連携協議会の沿革

- 1983.2 テクニカルショウよこはま'83に7異業種グループが出席
同 上 第1回神奈川県異業種交流大会(産業貿易センター)に12グループ70名参加
1983.5 「異業種グループ交流フォーラム」を10団体により、工業試験所技術情報センターに設置。異グ連の母体となる。
1984.2 第2回神奈川県異業種交流大会(工業試験所)で、「異グ連」結成と、「全国集会」開催を決議。270名参加。
1984.4.20 神奈川県異業種グループ連絡会議発足(工業試験所)23団体参加。
1984.9 ビッグフォーラム'84(異業種交流全国集会)2,400名参加、県民ホール
1988.2 異業種交流サミット'88小田原大会450名(地域大会の始まり)
1988.9 '85 神奈川異業種交流プラザと米沢電機工業会が広域地域間交流提携(始まり)
1991.2 第1回日韓シンポ(横浜)(海外提携の始まり)
1995.4 「神奈川異業種交流センター」開設
2003.9 まんてんプロジェクト発足
2004.2 「地域産学交流サロン川崎」発足(地域サロンの開始)
2004.4 (株)JASPA 設立
同 上 異グ連20周年記念行事、国コーディネーター事業実施
2005.11 JICA 研修始まる。
2013.6 「神奈川県異業種連携協議会 (イグレン)」と改称。
2014.11.28 イグレン30周年記念行事
2015.6.15 第32回総会
2016.3.5 中小企業支援と公設試験研究機関の役割を考えるシンポジウム
2017.6.27 第34回総会
2018.6.22 第35回総会
2019.6.18 第36回総会
2021.2 テクニカルショウ横浜2021 オンライン展示に参加

かながわイグレン理論機関誌

発行 神奈川県異業種連携協議会
議長 金究武正
専務理事 芝 忠
事務局 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
所在地 神奈川中小企業センター7F 703
電話 045-228-7331
発行年月 2022年1月6日



神奈川県異業種連携協議会